

糺谷小わくわくスクール3年生

令和3年7月29日（木）に、3年生のわくわくスクールを行いました。当日は16名の参加がありました。

令和3年度は、緊急事態宣言下での実施となり、感染対策を徹底した上で「学びをとめない」ことを主眼に実施を決定しました。

3年生は、1年生・2年生と同じ内容の「空気を感じる！」という講座で、文字通り空気の状態を確かめる科学的実践を身近な教材で行うといったものでした。教材は、紙ヒコーキです。折り紙と使用済みはがきを利用して作りました。重心を考えて、精密に作る（計測したり、折ったり、切ったりなど）必要があることから難しいと思いましたが、さすがは3年生です。定規を使って長さをはかったり、折り紙の角と角とを合わせて丁寧に折ったりすることに加え、かた結びまで一人でできるのです。1・2年生とは格段に違いました。3年生の担任の先生や他の方も手伝っていただき、何とか完成。作った紙ヒコーキは、紐で結んで凧揚げのようにして飛ばします。紐を付けながら歩いただけでも浮かぶ紙ヒコーキです。目には見えない空気の状態を感じることができました。

最後に、校庭に出て、手作りパラシュートで空気の抵抗を使って遊びましたが、時間にも余裕があり、リレーをして、思いっきり体を動かしました。「パラシュートが重く感じる！」子どもたちのこんな声が響きました！

